

令和7年度 伏見中学校「学ぶ力」育成プログラム

自ら課題を見付け、自ら学び、自ら問題を解決する資質・能力

学校番号：31006

「学ぶ力」	
これまでの 成果	課題
<p>◇札幌市の共通指標の「分からないことはそのままにせず、分かるまで努力するようにしている。」という項目は、全市平均を大きく上回ることができた。</p> <p>◇ICT の日常的な活動を積み重ねたことにより、ICT 活用に関するアンケートにおいて、「端末のアプリケーションを使うことで、いろいろな表現をすることができるようになったと感じる。」「家庭で端末を活用することで、学習が充実している。」という項目が全市平均を上回ることができた。</p>	<p>◇札幌市の共通指標の「1日の時間の使い方を自分で考えて生活している」と「自分で計画を立てて勉強している」という項目において全市平均を下回っており、何事に対しても「見通し」をもって計画的に取り組むことができるよう支援が必要である。</p> <p>◇「自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしている」について、多少の改善はあったが、これからも継続的に意識していく必要がある。</p>
「学ぶ力」の基盤〈協働を通して磨く相互承認の感度〉の現状と課題	
<p>◇札幌市の共通指標の「自分にはよいところがある。」の自己承認に関する項目、「人のよいところを見付けようとしている。」の他者承認において、全市平均を上回り、校内の学校評価においても同項目について約9割の肯定的な回答が得られた。教科の授業はもちろんのこと、総合的な学習の時間においても協働的な学習を行い、それぞれの生徒の個性を發揮して活躍する場面を創出することができたことが、自己肯定感や他者承認の高まりに寄与していると考えられる。これからも生徒同士がお互いの良さを認め合い、自己有用感を実感できる機会を増やしていくことが重要である。</p>	

「学ぶ力」の育成のために着目する資質・能力

自らの学びを調整しながら見通しをもって主体的に取り組み、他者との関わりを充実し、自分の考えを発信する力

	AAR サイクルの視点で捉え直した 課題探究的な学習の推進	さっぽろっ子宣言「プラスのまほう」に基づく 自主的な活動の充実
取組	<p>◇生徒が単元や題材の見通しを明確にもち、意欲や期待が高まる【イントロダクション】や自信や達成感等を実感できる「リフレクション」の設定</p> <p>◇フォーサイトを活用し、見通しと振り返りを大切に学習習慣の定着。</p> <p>◇意味理解を伴った知識の習得と、知識を使いこなす力の育み</p> <p>◇総合的な学習の時間において、同学年だけでなく、異学年生徒と意見を交流する場面を設定することで、自らの考えを広げ、深める場の創出。</p> <p>◇考えや意見を発信する力を育むために、「自ら考えたり、判断したりしたことを自分の言葉で表現する学習」や「他者と協働して課題解決する学習」の充実</p> <p>◇パートナー校による小中一貫した教育活動の推進（合同研修会、小中合同音楽祭）</p>	<p>◇生徒の声を生かした自主性や主体性を育む生徒会活動</p> <p>→生徒の主体性や創造性が発揮される学校行事の企画、運営</p> <p>→さっぽろっ子サミットへ向けたパートナー校児童会と生徒会役員の自主的な活動を目指しての意見交流</p> <p>→先輩から後輩へと伝える伝統の継承</p> <p>→新たな活動や取組の創出（ゴミ拾いチョボラ等）</p> <p>◇学校全体を明るく元気にする挨拶活動の充実</p> <p>→生活委員会を中心に、学校全体で気持ちの良い挨拶ができる取組やいじめ防止に向けたスローガンの策定</p>

〈本プログラムの実行に向けて〉

